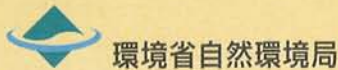
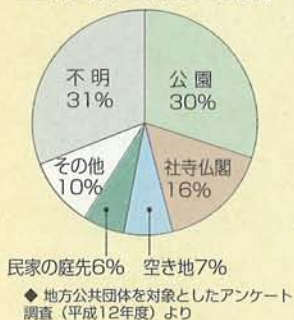


ハトとのトラブルがおきています
エサをあげないで！



**ハトはエサがたくさんあると増えます。
 エサの大部分は公園などで人があげています。**

エサがあげられている場所



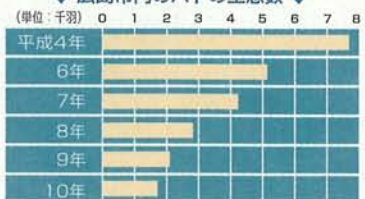
エサをあげているところでは、
 ハトの数がとても多くなります。

エサの量が減るとハトは増えません

広島市では、平和公園を中心にハトのフン害などが問題になり、平成6年より売店でのエサの販売を中止しました。

同時に、エサを与えないよう呼びかけ、ハトの生息数を5分の1まで減少させることに成功しました。

◆ 広島市内のハトの生息数 ◆



ハトとはどんな鳥

ここでいうハトとは、飼い主のいない野生化したハトのことで、ドバトと呼ばれています。

公園や神社、駅前広場などで見られるドバトは、ヨーロッパ、中央アフリカ、アジアに住む野生のハトの一種、カワラバトが飼いならされたものです。

日本には古く奈良時代に持ち込まれ、通信のための伝書鳩として、また競技用のレース鳩などとして多くの人に飼われてきました。これらが野生化し、現在、全国各地で見られるドバトになっています。

●ドバトの食べ物

木の実、草の実、芽、葉など、おもに植物性のものを食べます。

●ドバトの行動

群れで行動し、雨の降り込まない棚状の所にねぐらや巣をつくります。

繁殖期間は1年中ですが、とくに春から夏にかけては繁殖が盛んで、何度も産卵をくり返します。

